

第 63 回中部日本生理学会

会 期：平成 28 年 11 月 4 日（金），5 日（土）
会 場：自然科学研究機構岡崎コンファレンスセンター
当番幹事：自然科学研究機構生理学研究所
 基盤神経科学研究領域視覚情報処理研究部門 吉村由美子
 分子細胞生理研究領域神経機能素子研究部門 久保義弘
演 題 数：54 題
参加人数：134 名

第 63 回中部日本生理学会は、生理学研究所において上記日程で開催されました。事前参加登録された 126 名および当日受付された 8 名の合計 134 名のご参加をいただきました。そのうち学生の参加は 40 名でした。演題数は、口演発表 33 題およびポスター発表 21 題で合計 54 題でした。広範な分野にわたる研究発表に対して活発な質疑応答が行われました。今回の新しい試みとして、テクニカルレクチャー 3 題を企画し、老木成稔先生（福井大学医学部）、喜多村和郎先生（山梨大学医学部）、大野伸彦先生（生理学研究所）に、先導的な研究手法をわかりやすく紹介いただきました。また、ポスターセッションの前に、1 分ずつのフラッシュトークを行いました。総会では、各種委員会等の報告、および新たに中部地区に着任された教授等のご紹介を行いました。また、2 年後の第 65 回大会の当番幹事を名古屋大学医学部の久場博司先生および中村和弘先生に決定し、久場先生よりご挨拶いただきました。1 日目の夜には、愛知のお酒等を用意した懇親会を開催し、和やかに楽しいひと時を過ごしました。

ご参加下さった皆様、および共催の生理学研究所に、改めて感謝いたします。ありがとうございました。

次回第 64 回大会は、山梨大学医学部の喜多村和郎先生、宇賀貴紀先生、大塚稔久先生が当番幹事をご担当下さり、平成 29 年 10 月 6 日（金）、7 日（土）に開催される予定です。

地方会抄録はウェブページ <http://physiology.jp/nisseishi/> に掲載させていただくことになりました。（Pt 2）p. 6～p. 19 をご覧ください。